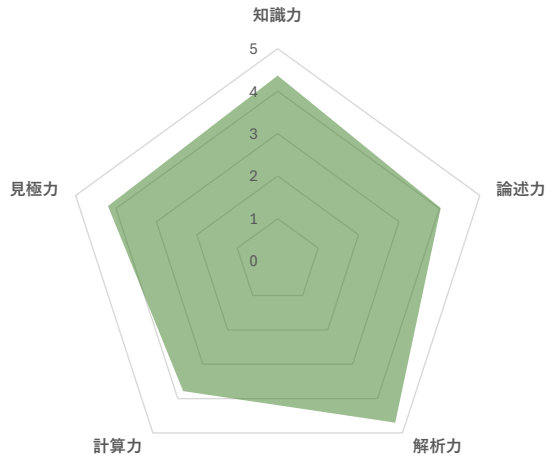
2025 年度　2月4日　実施　私立　藤田医科大学　医学部　講評　生物

総合分析

試験区分	一般（前期）
制限時間	60分（理科２科120分）
大問数	全３問

合格に要する能力（５段階）



出題分野

系統と進化	0%
生命現象と物質	42%
遺伝子	26%
生殖と発生	15%
生物の環境応答	18%
生態	0%

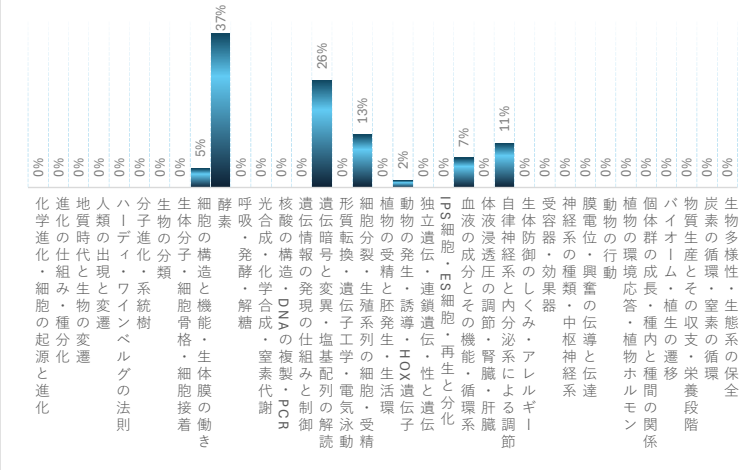
本年度 解答形式

論述 100%

本年度出題テーマ一覧

第１問	性周期とホルモン，胎児の血液循環
第２問	染色体突然変異，白血病
第３問	酵素の親和性とKm値，競争阻害と非競争阻害

本年度 出題詳細分類



合格に要する能力（５段階）

知識力	4.2	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	3.8	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	4.5	図表データなどから分析・解析する力
計算力	3.6	式を組み立て，正しく計算する力
見極力	4.0	難度を判断し，適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学あり	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述あり

特記事項	特になし

総合評価

難度	4.1	最難を５とする問題自体の難度	難しい	一次合格に必要な正答率（予想）	54%
分量	65分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや多い	標準	

入試の特徴と対策

- ▶新傾向または最新の知見に基づく出題が多い。読解力や解析力が必要になる。
- ▶データ解析・推理・考察を要する設問が多い試験。
- ▶問題文が長く，複雑な設定や条件，前提知識が提示されている。

入試から見る大学が求める学生像

単科医大特有の医学生物からの出題が目立つ。ただし，専門的な知識を持っておく必要はなく，高校生物の知識を踏まえて現象を理解する能力が試されている。時間内に問題を全て解き終えるのは難しく，得点できる問題を見極めて解答する必要がある。